<u>UPSS-X2,A3 シリーズスクリプト</u>

手動実行手順書(JAVA なし編)

2018年7月2日

UPS ソリューションズ株式会社

●変更履歴

版数	日付	変更内容		
1.0	2018/7/2	新規作成		
1.1	2018/8/9	表紙追加及びTelnet・SSHの利用追加、Event番号の注意点を記述		

X2,A3 シリーズへのスクリプト手動実行方法

X2,A3シリーズに登録されたスクリプトの手動実行の手順をご案内致します。

1.管理端末に JAVA がない場合のスクリプト実行手順

X2,A3 シリーズへの GUI を使わないスクリプト手動実行の方法を記載します。

- 管理端末から、通信ソフトを起動します。(今回は、TeraTermProを通信ソフトとして利用します)
 ※通信方式は、Telnet 又は SSH のいずれかで対応可能です。
 ※SSH でのアクセスを使用する場合には、UPS 側で設定が必要です。
- ② 通信ソフトへ LAN I/F カードの IP アドレスを[ホスト(T)]へ入力、
 サービスを[Telnet]または[SSH]にチェックを入れて OK をクリックしてください。
 ※今回は Telnet を使用します。

Tera Term: 新しい	接続	×
◎ TCP/ <u>I</u> P	ホスト(<u>၂)</u> : 192.168.1.1	•
	■ヒストリ(0) サービス - ト#(P): 23	
	ッービス: ● <u>Telnet</u> ◎ <u>SSH</u> SSHバージョン(V): SSH2	-
	○ その他 プロトコル(<u>C</u>): UNSPEC	
© シリアル(<u>E</u>)	・ボート(<u>R</u>): COM1: 通信ボート (COM1)	*
	ок キャンセル ヘルブ(<u>н</u>)	

③ User name / Password を入力して Enter を実施してください。

Default User name : upsadmin

Default Password : UpsAdmin

※Password を変更されている場合には、設定された Password を管理者に確認してください。

Welcome to UPS Agent User name :upsadmin Password :		

④ Main Menu が表示されますので、[6.Connection Device]を選択して下さい。



⑤ 利用できる Device が1番から順に表示され、[Enter]キーを押すことにより50番まで登録を確認できます。
 ※目的の Device を見つけたら[Esc]キーを押すことにより入力画面に切り替わります。

Connection De	evice
1:192.168.0. Kanji Location Comment Outlet Make On LAM	106(HS-TELNET) :EUC : YEC_UPS :1 kiDisabled
2:None	
3:None	
4:None	
5:None	
6:None	
7:None	
8:None	
·····MORE····	••••

- ⑥ 入力画面に[Select Connection Device No.]が表示されたら、Device の番号を入力して[Enter]キーを押す。
- ⑦ Device の情報が上段に表示されて、下段には選択項目が表示されますので

[3.Event]を選択して[Enter]キーを押してください。



⑧ 選択項目から[2.Event Script]を選択して[Enter]キーを押してください。



⑨ [Input Event No.] が画面に表示されましたら、スクリプトを設定してある Event の番号を入力して、
 [Enter]キーを押す。

※本書では、シャットダウンボックスに指示を与える Event 番号を[0511.シャットダウン実行]にしましたが、
 別の Event にスクリプトを設定している時には、設定した Event 番号を入力してください。

⑩ Event 登録してある情報を上段で確認し、問題がなければ下段の選択項目の[3.Test]を選択して

[Enter]キーを押す。(※本画像は、[0102.停電復旧]を例としております。)

Connection Devi	
Event No.0102 Condition	
Event Script 1 :send=10 2 :sleep=10	
1.Condition 2.Edit Script	
UPS Agent>	

※Test 時には、[1.Condition]が off でもスクリプトを実行できますが、
 実際の Event の場合には、[1.Condition]で設定を ON に切替えて下さい。
 Test を行うと OK と出力されて戻ります。

⑪ Exit を実施して[Mein Menu]まで戻ってください。

2.管理端末に JAVA がない場合のログ確認方法

② [Mein Menu]の[4.Display]を選択して[Enter]キーを押してください。

Mate Mana	
Main Wenu	
1.Configuration	
2. Schedule	
2 Control	
S. Long pol	
4.Display	
J-LOCATE	
6.Connection Device	
7 Eurot	
A A A A A	
8.Uutlet	
9.Ping	
10 Download/Ibload	
10 Dominioade oprioad	
II.Exit	
UPS Agent>6	

③ [Display Menu]から[3.Event Log]を選択して[Enter]キーを押してください。



⑭ 実行された Event が Log 表示されるので、正常実行されているかを数字で確認する。

Туре	No.	DateTime		Addr	ess		Detail
Inf	0405	2016/01/27	19:09:07	192.16	8. 0.	. 194	EVT=0102
Inf	0320	2016/01/27	19:08:44	0.	0. 0.	. 0	script(0102)
Inf	0514	2016/01/27	18:59:09	192.16	8. 0.	. 24	0x00001800
Inf	0514	2016/01/27	18:16:31	192.16	8. 0.	. 24	0x00000010
Inf	0514	2016/01/26	16:33:22	192.16		. 10	0x1000000
Inf	0514	2016/01/26	12:36:45	192.16		. 21	0x20001810
Inf	0109	2016/01/25	20:34:55				
Inf	0106	2016/01/25	20:34:55				
Inf	0552	2016/01/25	20:34:53				OUTLET 2
Inf	0552	2016/01/25	20:34:53				OUTLET 1
Inf	0650	2016/01/25	20:34:27		0. 0.		
Inf	0501	2016/01/25	20:34:27				
Inf	0553	2016/01/25	20:01:07				OUTLET 2
Inf	0553	2016/01/25	20:01:07				OUTLET 1
Inf	0514	2016/01/25	14:29:27	192.16	8. 0.	. 18	: 0x00044000
Inf	0514	2016/01/25	14:27:49	192.16		. 18	: 0x00044000
Inf	0106	2016/01/21	19:03:28				
Inf	0552	2016/01/21	19:03:28				OUTLET 2
Inf	0552	2016/01/21	19:03:28				OUTLET 1
Inf	0553	2016/01/21	19:02:58				OUTLET 2
Inf	0553	2016/01/21	19:02:58				OUTLET 1
_							

0405:スクリプト送信完了 0406:スクリプト送信失敗